



笠井かなえの

Let's市民力!

ネット・宗像事務所
宗像市東郷 2-4-15
tel/fax 37-0700

Vol.3 2016年7月

笠井 かなえ

自由ヶ丘2丁目在住 「暮らしのことば」を市政に! 討議資料

「Let's 市民力!」って・・・

市議会は、子育て、介護、ごみ、道路のことなど、私たちの暮らしに密着した制度やお金の使い途を決めるところです。たくさんの市民が政治に関心を持ち、そして市民の声が議会で反映されることが大切です。

政治は暮らしを良くする道具です。上手に使い「住みやすいまち」「住み続けたいまち」をみんなで一緒につくっていきましょう。

ふくおか市民政治ネットワークの

市民自治を広げるための3つのルール



- 1、議員は2期8年で交代
- 2、活動資金は、議員報酬からの寄付、会費、カンパで
- 3、選挙はカンパとボランティアで

♪ 選挙は政治参加の入り口です。賛同する市民一人ひとりが、自分の意思で、知恵や労力（ボランティア）とお金（カンパ）を出し合って参加する選挙をします。議会に議員を出すだけではなく、ともに活動する市民の輪を広げることで、政治を変えていきます。

♪ 候補者が選挙に挑戦しやすいように、選挙資金は議員報酬からの寄付（積立金）と市民のカンパで作ります。候補者は自己資金が不要です。



「1人の100歩より、100人の1歩」によって、「住みたいまち」づくりをします。

映画「みんなの学校」が教えてくれた。

まぜこぜの社会はみんなにやさしい...

映画「みんなの学校」の上映会と、初代校長 木村泰子先生の講演会に参加しました。この「みんなの学校」は、大阪市立南住吉大空小学校の取り組みを一年かけて追いかけたドキュメンタリー映画です。大空小学校では、特別支援教育の対象となる発達障害がある子ども、自分の気持ちをうまくコントロールできない子ども、みんな同じ教室で学んでいます。児童と教職員だけでなく、学校と地域が共に学び共に協力し合いながら「地域に生きる子ども」を育てている学校です。

この学校に校則はありません。「自分がされて嫌なことは人にしない。言わない。」というたった一つの約束があるだけです。様々な状況の子どもをまぜこぜにすると、子どもは子どもから大事なことを学びます。そして大人も子どもと一緒に育っていきます。今、学校教育の一つの目標に、グローバルな人材を育てるということがあります。グローバルな人とは、決して語学ができるということではなく、相手の心や立場に立って物事を判断し、他と共存・共生できる人だと思います。

この映画に出てくる子どもも大人も、とても生き生きした表情で「まぜこぜの社会はみんなに優しい社会」だと教えてくれました。

笠井かなえの 「100歩の1歩」

地域の小学校のボランティア活動に参加しました。今回は5年生の家庭科の授業です。裁縫の基本である、玉どめ・玉結び、ボタンつけ、運針をしました。

最初の難関は、針に糸を通すことです。その次は、玉結びです。人差し指に糸を巻き、親指でよりをかけて結び目を作るのですが、上手くできない子がいます。ここで挫けてしまふと縫物が嫌になるので、その子の様子を見て、ポイントをアドバイスします。子どもたちは何度も何度も繰り返しうちに、上手に出来るようになります。玉どめも布のすぐ近く出来るように挑戦し続けます。

子どもたちの笑顔と、楽しいという言葉が、私への「褒美」です。